

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

えびの市長 村岡 隆明

市町村名 (市町村コード)	えびの市 (452092)
地域名 (地域内農業集落名)	上島内・中浦地区 (上島内集落、中浦集落)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年3月26日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題※

当地区は、中心経営体である農業法人や認定農業者11経営体と基本構想水準到達者3経営体が担っており、地域の担い手は今は確保できている。しかし、高齢化による離農者の増加が危惧されるため、今後農地の新たな受け手の確保が必要であり、認定新規就農者の受入れを促進することで対応していく。

※は実質化された人・農地プランと同程度の項目です。以下同じ。

(2) 地域における農業の将来の在り方※

現在、ほ場整備事業の採択に向けて推進中である。ほ場整備事業の完了に合わせ、担い手への農地の集積・集約化と、より収益性の高い露地園芸作物や施設園芸作物の生産に取り組むほか、畜産農家の多い当地区のために裏作による飼料作物の増産にも取り組むなど、高収益作物等への作付体系を検討していく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	43.7 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	43.7 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を「農業上の利用が行われる区域」とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針※
当地区については、ほ場整備(基盤整備)の採択に向け推進中であり、中心経営体へ60%以上の農地の集積に向け取り組んでいく意向である。
(2)農地中間管理機構の活用方針※
将来の担い手への経営農地の集約化を目指すため、農業をリタイア・経営転換する者は、原則として農地をすべて機構に貸し付けていく。また、担い手の分散錯ほを解消するため、利用権を交換しやすくするために借受者は、原則としてすべて機構に貸し付けていく。
(3)基盤整備事業への取組方針※
農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備に取り組む。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針※
認定農家などの担い手の育成を進める一方、関係機関との連携により営農意欲のある新たな若い就農者の確保や基本構想水準達成者の育成を図りながら、当地区の農地を守っていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
当地区においては地元の担い手を中心に集落営農への取り組みを検討し、集積及び農作業受委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策※	<input type="checkbox"/> ②有機・減肥料・減農薬	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

ほ場整備事業完了に合わせ、より収益性の高い露地園芸作物や施設園芸作物の生産に取り組むほか、畜産農家の多い当地区のために裏作による飼料作物の増産にも取り組む。